

# 平成 27 年度庄原市中学校合唱コンクール

【平成 27 年 11 月 17 日（火）：庄原市民会館大ホール】

「全市的な音楽活動の表現や鑑賞を通して、生徒の感性を高め、豊かな情操を育むとともに、同世代の一体感がふるさと愛につながる取り組みとする」ことをねらいとして実施し、主に3年生を対象として「5年後の成人式に、課題曲を一緒に歌うこと」も呼びかけました。

庄原市内の7中学校が一堂に会した合唱コンクールは、本市で初めての取り組みです。

各学校が課題曲『そよぐ風の中で（作詞；うらん 作曲；西澤健治）』と自由曲の2曲を披露しました。それぞれ目標をめざし、心を込めて練習してきた成果を存分に発揮しました。



生徒たちは、お互いに他の学校の特色や工夫を学び、温かい拍手をおくるなど、生徒同士の交流も深まりました。また、生徒たちの真剣に歌う姿や聴く態度は、美しいハーモニーや熱い思いとともに、会場全体を深い感動で包み込みました。



ふるさとで頑張っておられる地元コーラスグループ「庄原コール・ソレイユ」の皆様にご披露していただきました。

審査結果は  
「最優秀賞」口和中学校  
「審査員特別賞」庄原中学校  
となりました。



最後は、会場の全員で課題曲を合唱しました。

参観者からは、「歌う態度も聴く態度も立派な中学生の姿や底力に感動した」「心を一つにした歌声に胸が熱くなった」「美しいハーモニーに心が揺さぶられた」という感想をいただきました。

(中学生の感想から)

- ◆ 自分たちは大きな声で歌うようにしていたが、他の学校の歌い方を聞いて、抑揚をつけながら歌うことが大切だと分かった。
- ◆ 自分たちよりも人数の多い学校はダイナミックで迫力があつた。少人数の学校は一人一人が声を出していた。自分たちにはない、吸い込まれていくような合唱だった。
- ◆ 生徒が少ない中でも、練習してきたことをしっかりと歌い切ることができた。
- ◆ 課題曲は他の学校も歌う曲なので、特に頑張ろうと思った。
- ◆ 他の学校にはない四部合唱のすごさを伝えることができたと思う。
- ◆ 自分たちの合唱は、全校生徒の声が一つになっていて、とてもきれいだったと思う。このようなことは、僕たちだけしかできない様な気がする。
- ◆ どの学校もハーモニーがとてもきれいで、たくさん練習をしたのだと思った。
- ◆ 合唱コンクールは、今回、とても素晴らしかったので、是非続けてほしいと思う。
- ◆ 今後は、合唱のまとめとして、さらに感動してもらえるように細かい部分に注意しながら練習していきたい。後輩には、私たちの分まで頑張ってもらいたいと思っている。
- ◆ 今年初めて合唱コンクールというのを経験できて、本当に良かったと思う。今年、賞をとれなかった悔しさをバネに、ここから学んで来年は後輩たちに最優秀賞をぜひとってもらいたい。